

# 遺跡へ行こう

## その4 すがたを現した環濠のムラと墓地 大塚・歳勝土遺跡

神奈川県横浜市の  
大塚・歳勝土遺跡です。

今回は  
弥生時代の環濠集落と  
方形周溝墓を見に行こう！



カイトとリュウさんは、大阪府立弥生文化博物館の展示品から飛び出した、博物館のキャラクター「館キャラ」です。本冊子では「弥生遺跡」や各地の「博物館」を訪ねて日本中を駆けめぐります。二匹の活躍にご期待ください！

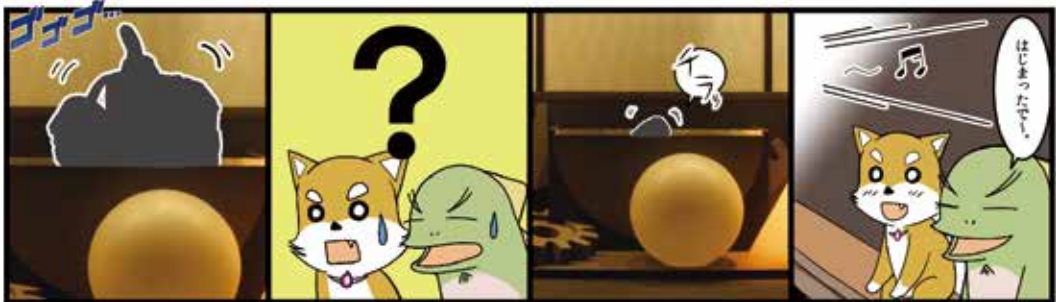


日本列島は、いまでこそ「日本」というひとつの国にまとまっていますが、弥生時代にはたくさんのクニがそれぞれの地域で独特な文化を築いていました。

# 遺跡へ行こう



本冊子で紹介する遺跡を訪れば、出土した遺構や遺物はもちろん、遺跡の周りの自然や地形環境、気候のほか、遺跡の立地など、自分たちの地域とは異なる部分に気が付くはず。



島国ならではの多様な風土が生み出した、特色豊かな弥生文化。それはいまの日本文化の源流となるものです。時には、悠久の時を超え、遙か先人たちの叡智に想いを馳せてみませんか。

僕はレックル！ みんなに「ニワトリ」って言われるけど、じつはオナガドリだよレックル！ 横浜市歴史博物館・歴史劇場の案内役なんだレックル！ ここからは僕がみんなを案内するレックル！



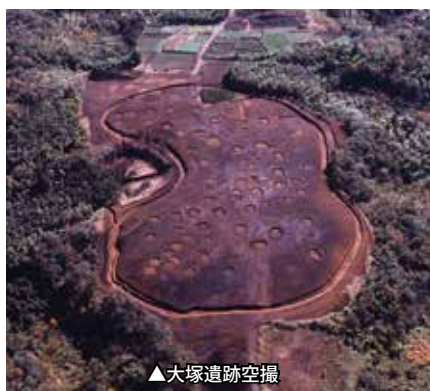
▲レックル

大塚・歳勝土遺跡は、今からおおよそ二〇〇年前の弥生時代中期に作られたツクル！ 池上曾根遺跡と大体同じ頃の遺跡だツクル！

……語尾でキャラ付けしようと思ったけど、めんどくさいからもうやめるね。ごめん……

### 国史跡大塚・歳勝土遺跡

大塚遺跡は、今から二千年ほど前の周りを濠で囲んだムラで、環濠集落とよばれている。弥生時代の環濠集落は、九州から関東地方までたくさん見つかったりするけれど、全体のようなすを発掘調査で明らかにすることができたのは大塚遺跡が



▲大塚遺跡空撮

初めてで、全国的に注目されたんだよ。となりにある歳勝土遺跡は、大塚遺跡のムラに暮らした人々が葬られたお墓の遺跡なんだ。合わせて、大塚・歳勝土遺跡とよばれているよ。

大塚・歳勝土遺跡は一九六七年に横浜市北部の遺跡分布調査で見つかった。一九七二年から一九七六年にかけての発掘調査で、弥生時代中期の環濠集落と墓地の全体像が明らかになったんだ。弥生のムラの様子がよくわかる貴重な遺跡として、一九八六年に大塚遺跡の約三分の一と歳勝土遺跡の方形周溝墓群の部分が、国史跡に指定されて保存されることになったんだよ。

遺跡公園の地形模型でわかるように、大塚・歳勝土遺跡は広い平坦面を持つ標高五〇メートルほどの台地上にあるんだ。早淵川・鶴見川流域には、弥生時代中期の環濠集落が点々と存在していて、大塚遺跡もその一つなんだよ。

### ムラを囲む濠

大塚遺跡の環濠は、最大で幅四・五メートル、深さ二・五メートルほどで、断面の形は上が開く逆台形になっている。



▲発掘時の写真

今の遺跡公園の環濠は一回り小さく復元されているんだ。濠は全長おおよそ六〇メートルで、一度埋まった後に掘りなおされている。古い段階の環濠は、

東側の谷の部分がくびれたカシユーナツツのような形をしているんだけど、新しい段階の環濠は谷に降りていびつな楕円形になっていたようだね。長軸二〇〇メートル、短軸一三〇メートルほどの大きさのムラだったんだ。

大塚遺跡では、環濠の中の地層の観察によって、掘り上げた土が環濠の外側に積まれていたこと、そしてその土が環濠の中に流れ込んでいたことがわかったんだ。これによって、土塁があったんじゃないかと考えられているよ。



▲環濠断面

### ムラの建物

大塚遺跡からは、八五軒の竪穴住居の跡が見つかっている。宮ノ台式と呼ばれ

# カイトとリュウさんの 遺跡へ行こう



△発掘された竪穴住居

る土器が使われた時期のうちのさらに限られた時期、おそらくは数十年の間に作られたものなんだ。全ての住居が同時に建てたわけではなく、おそらく同時に存在したのは二〇〜三〇軒程度だったのではないかと考えられているよ。

竪穴住居の多くは楕円形で、四本の柱で屋根を支えている。長さ六〜七メートルのものが多くいけれど、一〇メートル近いものもある。でも家の作りや見つかる遺物にはあまり違いはないみたいだね。

床がくぼんで赤くなっている場所がわかるかな？これは火をたいた炉の跡だよ。家のまん中ではなく、少し奥まった



▽梯子穴の炭化材

実際に炭化した梯子が穴の中から見つかったこともあるんだ。

出入り口横の壁沿いには浅い円形の穴がある。内部から土器が出土することがあるの、食べ物などを貯蔵するための穴だといわれているよ。

高床倉庫と考えられる掘立柱建物跡もあった。見つかった数は一〇棟で、共同の倉庫だったんじゃないかと考えられているんだ。

残念ながら、大塚遺跡の近くからは弥生時代の田んぼ（水田）の跡は見つからない。でも環濠や竪穴住居からは黒くげになったお米（炭化米）が見つかった。この炭化米を理化学的に分析したところ、水田で栽培された可能性が高い



▲炭化米塊

場所に作られているんだ。壁の近くにある穴は、出入りのための梯子を立てる梯子穴だよ。

ことが分かったんだ。だから遺跡の近くに田んぼがあったことは間違いない。確認されていないけど、遺跡を下った小さな谷沿いか、少し離れた早淵川の付近に田んぼがあったんじゃないかと考えられているよ。

池上曾根遺跡でたくさん見つかる石包丁（稲のつみ取り具）は、大塚遺跡では一個も見つからなかったんだ。いったいどうやって稲刈りをしていたのかは、ナツなんだよね。



## ムラの墓地

歳勝土遺跡は、大塚のムラに住んでいた人たちの墓地なんだ。方形周溝墓とよばれるお墓で、周囲が四本の溝で囲まれる。（斜面の部分では、コの字形やL字形になっているよ。最大で一辺が一五メートルほど、最小で一〇×六メートル程の大きさだよ。こうした方形周溝墓が二五基見つかったけれど、発掘していない部分も含めると三〇基ほどあったのではないかな。



▲歳勝土遺跡空撮

発掘時には、地面より上の部分は削られてしまっていたけれど、もともとは溝に囲まれた部分に土を盛り上げて、その真ん中に穴を掘って木棺をおさめたんだ。木棺とその中の人骨は腐って土になっちゃってしまっていたけれど、土層の観察から棺の痕跡を確認することができた。

弥生時代のお墓には、アクセサリーや武器と一緒に埋められていることがあるけれど、歳勝土遺跡では全く見つからなかったんだよ。このムラには、こうした慣習がなかったのか、それほど大きな力をもつリーダーがいなかったか・・・

## 港北ニュータウンの遺跡群

この大塚・歳勝土遺跡がある地域は港北ニュータウンと呼ばれている。横浜市の北部にあたる地域なんだ。ここに新しく多くの人が住む町を作るために、開発される予定の地域にある遺跡の調査が一九七〇〜一九八九年の二〇年間にわたって行われたんだ。



▲現代の家と縄文時代の家

港北ニュータウンの遺跡調査にあたっては、「遺跡群研究」がテーマとして掲げられた。これはどういうことかという、一つ一つの遺跡をそれぞれ調べるだけではなく、いくつもの遺跡がお互いどのような関係をもっていたのかを具体的に確かもうという研究なんだ。そのため、地域内の遺跡を全部発掘することを原則として調査が進められた。まず予定地全域の踏査で二六八ヶ所の遺跡を確



▲花見山遺跡の土器

認し、そのうちおよそ二〇〇ヶ所の遺跡で発掘調査をしたんだよ。旧石器時代から近代までの遺跡が発掘調査され、その中には、縄文時代の一番古い時期である草創期の土器がまとまって見つかった花見山遺跡、南関東地方で最大規模の縄文時代集落である三の丸遺跡など、全国的にも有名な遺跡がいくつもふくまれている。大塚・歳勝土遺跡も、港北ニュータウンの遺跡の一つなんだよ。

## 大塚・歳勝土遺跡公園

大塚・歳勝土遺跡公園は、一九八六年に国史跡に指定された大塚・歳勝土遺跡とその周辺を整備して、一九九六年にオープンしたんだ。港北ニュータウンで発掘された遺跡はほとんどがすでに壊されてしまったけれど、唯一見学できるように整備された遺跡が大塚・歳勝土遺跡なんだ。残念ながら大塚遺跡の環濠集落の三分の二は削り取られてしまったけれど、環濠二五〇メートルと竪穴住居の跡二七軒が保存されている。歳勝土遺跡の方形周溝墓群は全て保存されているよ。



▼土塁と環濠

弥生時代の遺構そのものは土の下に埋めてあって、その上に復元したものをみんなに見学してもらっているんだ。日本の遺跡では、地面を掘りこんで作った穴

や溝だけが残っていて、上に作られた部分は腐ったり削られたりして残っていないことがほとんど

なので、残っていなかった部分については、当時のすがたを推測して復元しているんだよ。

大塚・歳勝土遺跡公園では、環濠と土塁・木柵、竪穴住居、高床倉庫、方形周溝墓などが復元されている。環濠の外側に土塁を復元した理由は、さきほど言った通りだよ。竪穴住居については、復元された建物のほかに、発掘された当時のようすを見られる型取り遺構もある。方形周溝墓についても、溝を掘り下げた発掘当時のようすとマウンドが盛り上がった弥生時代のようすが復元されていて、中央の棺が見えるように復元されたものもあるんだ。



▲型取り遺構

# カイトとリュウさんの 遺跡へ行こう

## 体験工房

大塚・歳勝土遺跡公園にある工房では、土器作りや草履編みなど、横浜の歴史にちなんだいろいろな体験学習ができるよ。遺跡公園では、体験学習で作った土器の野焼きなどもやっているんだ。



△工房外観



△小さな縄文土器作り

## 横浜市 歴史博物館

### 歴史博物館

大塚・歳勝土遺跡の隣には横浜市歴史博物館がある。実は僕はこの博物館の案内役なのだ。漫画でも紹介したように、常設展示室では、横浜の歴史を時期別に六つのコーナーで見て学ぶことができるんだ。特に原始IIのコーナーでは、大塚・歳勝土遺跡を中心とした横浜の弥生時代の解説をしているから、大塚・歳勝土遺跡公園と一緒に見学するのがおすすめです。

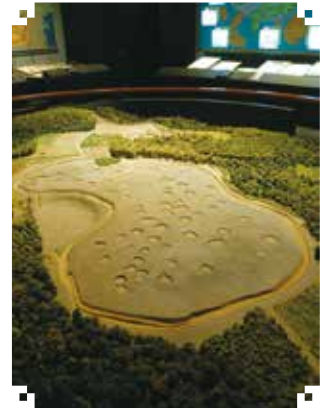
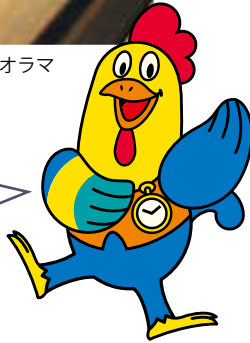
だよ。

港北ニュータウンの発掘調査の成果などから分かった横浜の歴史を見学できる場所が横浜市歴史博物館なんだよ。カイトとリュウさんが言っていたように、駅から五分で交通アクセスも良いので、気軽に見学に来てね！



▲ 生活の様子ジオラマ

レックルという名前は「歴史博物館にみんなが来るように」と名づけられたんだよ！



▲調査時の大塚遺跡のジオラマ



横浜市歴史博物館  
YOKOHAMA HISTORY MUSEUM

住所：〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区 中川中央1-18-1  
電話：045-912-7777  
開館時間：9時00分～17時00分 (券売は16時30分まで)  
休館日：月曜日(祝日の場合は開館) 年末年始  
<http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>



## 大塚・歳勝土遺跡公園

開園時間：9時00分～17時00分  
(※大塚遺跡を除く公園部分は24時間オープン)  
休園日：月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始



●駐車場あり(1時間200円)

平成二八年度文化庁  
文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業  
「カイトとリュウさんの遺跡へ行こう」  
その4 大塚・歳勝土遺跡  
企画・編集・館キャラ連携プロジェクト実行委員会  
大阪府立弥生文化博物館  
マンガ：宮野ミケ  
テキスト：横浜市歴史博物館 高橋健・橋口豊  
発行日：平成二八年八月五日  
印刷所：株式会社 中島弘文堂印刷所